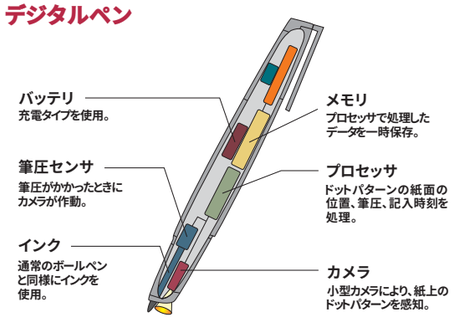
■製品体系

ハードウェア	デジタルペン／デジタルペン対応用紙／プリンタ
ソフトウェア	データ振り分けソフトウェア（EPLS）／データ処理ソフトウェア（ASH基盤）／デジタルペン対応用紙印刷ソフトウェア 帳票設計ツール／文字認識ソフトウェア／クライアントアプリ接続プログラム
ソフトウェア保守	各ソフトウェアサポートサービス
支援サービス	運用設計／帳票設計／システム設計／業務アプリケーション連携／帳票定義／環境構築
ライセンス	パターンライセンス／ユーセージフィー

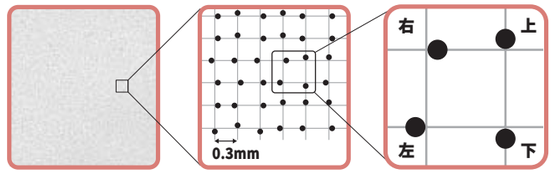
■動作環境

	ソフトウェア名称	サポートOS
サーバ	データ振り分けソフトウェア（EPLS） データ処理ソフトウェア（ASH基盤） デジタルペン対応用紙印刷ソフトウェア 文字認識ソフトウェア	Microsoft® Windows®2000 Server SP4 Microsoft® Windows Server™2003 SP1
クライアント	クライアントアプリ接続プログラム	Microsoft® Windows®2000 Professional SP4 Microsoft® Windows®XP Professional SP2
開発機	帳票設計ツール	

デジタルペン



デジタルペン対応用紙



ドットパターン
6×6のドットを組み合わせたドットパターンが異なるように紙面に配置。パターンをすべて合わせるとヨーロッパとアジア大陸を合わせた面積に相当します。また、パターンの違いから用紙の種類、記入位置を判断できます。

ドット
ドットは0.3mm間隔の格子から上下左右のいずれかの方向にずらして配置しています。

・Bluetoothは、米国Bluetooth SIG,Inc.の登録商標です。
・Microsoft、Windows、Windows Serverは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
・その他記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

デジタルペンとデジタルペン対応用紙は、アノト社の技術を用いて製品化したものです。

ISO 14001 JACO EC00J0182 / UKAS ENVIRONMENTAL MANAGEMENT 051

株式会社 日立製作所 公共システム事業部は、環境マネジメントシステムに関する国際規格ISO(国際標準化機構)14001の審査を受け、登録された事業部です。
登録番号:EC00J0182　登録日:2000年12月27日

JQA ISO 9001 JQA-1686

株式会社 日立製作所 公共システム事業部は、以下のサービスにおいてISO 9001の認証を取得しております。
登録活動範囲:顧客要求事項に基づく情報システムに関するシステムインテグレーションサービス
サービスの範囲:導入及び稼動維持サービス
登録番号:JQA-1686　登録日:1997年3月31日

⚠ 安全に関するご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ず「取扱説明書」、「使用上のご注意」などをよくお読みのうえ、おまもりください。

- 製品仕様は、改良のため変更することがあります。
- 本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法並びに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。
  なお、ご不明な場合は、弊社営業担当員にお問い合わせください。

製品に関する詳細・お問い合わせは、営業担当員または下記へ

■ 情報提供サイト・インターネットでのお問い合わせ
http://www.hitachi.co.jp/tegaki/

■ 公共システム事業部　公共システム営業統括本部
(03)5632-7412（ダイヤルイン）

株式会社 日立製作所　情報・通信グループ

CA-616　2007.6
Printed in Japan(H)

デジタルペン ソリューション

HITACHI
Inspire the Next

uVALUE

www.hitachi.co.jp/tegaki

本カタログはAdobe社Acrobatにより制作したPDFカタログです。All Rights Reserved Copyright ©2007.Hitachi.Ltd.

手書きのままで、ビジネスを進化させよう。

デジタルペンでデジタルペン対応用紙に文字を書くだけで、その情報をシステムへ登録 —— 書いた文字がシステムへ直結するこの仕組みが、ビジネスにさまざまな新しい価値をもたらします。たとえば手書き作業はそのままに文字やイメージを即時に電子化して業務を加速させる、あるいはデジタルペンの情報を吸い上げて現場の状況をきめ細かく把握できる。あなたのビジネスの価値も、ペンと紙で引き出しませんか。

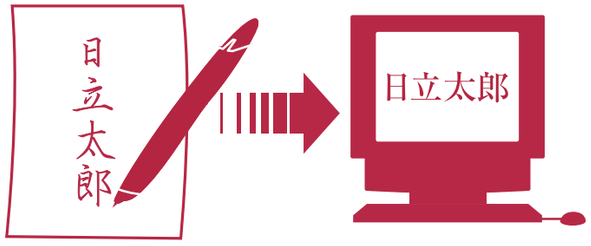
だれもが、どこでも、自由に使える。

必要なものは「紙とペン」だけ。慣れ親しんだ手書きでの作業だから、利用者に負担をかけることなく電子化できます。移動が多い、スペースが狭くPCやPDAなどが持ち込めない、など電子化に不向きとされていた現場でも幅広く活用できます。

書いた瞬間、電子化がはじまる。

デジタルペンで書いた内容は、PCや携帯電話*からシステムに送信してデータとして利用。手書きでの作業をそのままに、入力作業の負担を軽減し、スムーズな電子化を実現します。

*Bluetooth™対応の携帯電話が必要です。



現場がリアルに見えてくる。

デジタルペンは記入内容に加え、ペンのID、記入時間、用紙の種類を取得できます。トップは作業の流れや作業量など、業務改革に必要な情報を入手できます。

ペンがビジネスを動かしています。たとえばこんなふうに。

事例1「各種登録手続き」

これまでは 申込書の入力作業に時間がかかり、窓口での手続きを遅らせていました。

手続きに必要となる申込書はお客さまが記入。その内容を登録するためセンターでの入力作業が発生し、手続きに時間と手間が生じていました。また登録処理件数が増加した場合センターの処理スピードが低下し、手続きがさらに遅れていました。

これからは 申込書に書いたら、その場で登録。
申込が多い場合もお客さまをお待たせしません。

1

これまでと同じように お客さまが手書きで申込書に記入。

お客さまがデジタルペンを使って申込書（デジタルペン対応用紙）に必要事項を記入します。

2

ペンで書いた内容を スタッフが電子化し確認。

お客さまが記入を終えたら、スタッフがデジタルペンからデータを登録端末へ送信。端末上で申込内容を確認します。

3

お客さまを待たせることなく、登録手続きを完了。

センターでの入力作業を削減することで、速やかに登録完了。登録処理件数が増えた場合でもスムーズに対応できます。

あなたのすぐそばでも活躍しています。

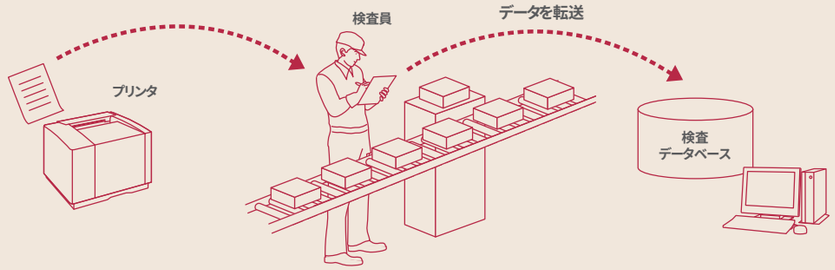
事例 ② 「製品検査工程」 ── 狭い作業スペースでの検査に適用 ──

導入前

現場が狭くPCやPDAなどの持ち込みが困難な工場での製品検査業務。検査終了後、記入した検査票の入力作業が生じていました。

導入後

検査票への記入は手書きのままに、入力作業が省けます。また、文字だけでは伝えきれないキズやゆがみなどの絵も、システムに登録することができるようになりました。



検査票をプリンタから出力　　デジタルペンで検査票に検査結果を記入　　入力作業の手間なくシステムに登録

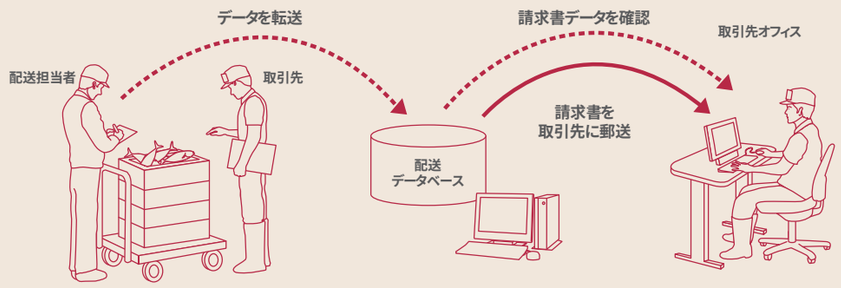
事例 ③ 「請求書発行」 ── 伝票の入力作業をなくして請求書をスピーディーに発行 ──

導入前

手書きの配送伝票をもとに専任者が入力を行い、請求書を作成。膨大な伝票の入力作業に時間がかかるため、請求書の発行は翌日以降となり、タイムラグが発生していました。

導入後

配送担当者の書いた伝票がそのまま電子化されるため、入力作業が軽減。その日のうちに請求書を発行できるようになりました。



配達する際に配送費をデジタルペンで記入　　配送費の請求書を当日のうちに発行　　請求書の明細を閲覧可能

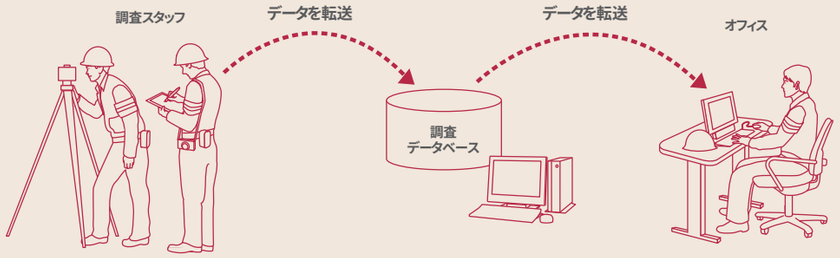
事例 ④ 「屋外調査」 ── 屋外の作業を身軽にこなし、データ連携も容易 ──

導入前

PCなどの機器の持ち歩きが大きな負担となる屋外調査業務。調査終了後は手書きの報告書の入力作業が生じていました。

導入後

屋外で身軽に作業をこなせるうえ、入力作業の手間が省けます。また地図情報やデジタルカメラの画像データなどとも容易に連携できるようになりました。



調査データを記入　　入力作業の手間なく電子化　　報告書を即座に作成

次はあなたのビジネスでも。

速やかに、確実に、実現するなら信頼の日立をお選びください。

お客さまのビジネスにあったシステム環境をスムーズに実現するため、導入から構築までをワンストップでサポート。また共通的な機能をパッケージとして提供しているため、アプリケーション開発が容易に行え、お客さまの業務プログラムとの連携も迅速に実現します。

セキュリティ

サーバに登録されていないデジタルペンからの情報は、読み出せません。不正に取得したペンの記入内容の読み出しは困難になり、盗難紛失の際も情報流出を防止できます。

運用性

サーバ処理方式を採用し、大規模システムにおいても情報を集約・管理可能。稼働後のメンテナンスも容易に行えます。

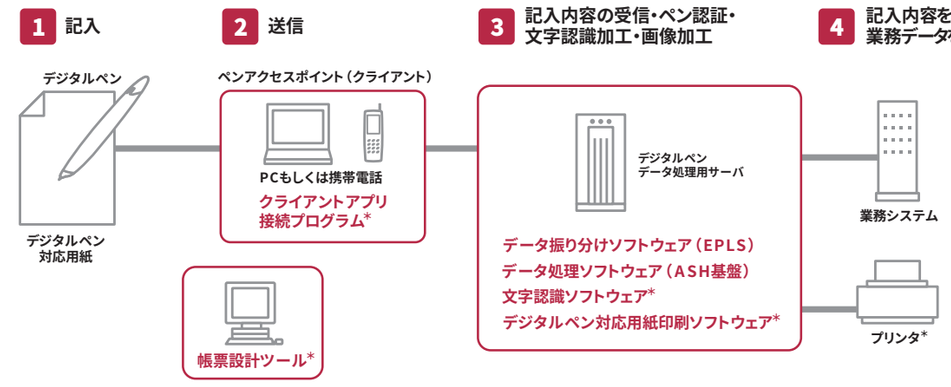
信頼性

日立はデジタルペンソリューションの基盤製品であるデータ振り分けソフトウェア（EPLS）をアノト社と共同開発しました。開発後もサポート情報のやりとりなど緊密に連携を行っています。

導入から運用まできめ細かく支援します。

導入検討段階	運用設計	デジタルペン導入後の効率的な業務フローや運用方法の設計を支援します。
	帳票設計	現場での使いやすさとスムーズな文字認識の実行を両立させた帳票デザイン作成を支援します。
構築段階	システム設計	お客さまの業務量や業務フローに対して必要となるハードウェア構成の設計を支援します。
	アプリケーション連携	ペンから取得した情報を業務アプリケーションに引き継ぐためのインタフェースの作成を支援します。
	帳票定義	印刷や文字認識のための帳票定義情報作成および作成支援を行います。
	環境構築	ソフトウェアのインストールや各種設定などの作業支援を行います。

豊富な製品ラインアップがお客さまの利用環境を支えています。



データ振り分けソフトウェア（EPLS）

デジタルペン対応用紙のドットパターンを認識し、帳票の種類を判別します。また、ペンのIDによるアクセス制御も可能です。

データ処理ソフトウェア（ASH基盤）

ペンから受け取った情報をもとに画像を生成します。また業務システムと連携するためのAPIを用意しています。

文字認識ソフトウェア*

データ処理ソフトウェアと連携し、手書き情報を文字コードに変換します。

帳票設計ツール*

印刷や文字認識のための定義情報を作成できます。
※デジタルペン対応用紙印刷ソフトウェアが必要です。

デジタルペン対応用紙印刷ソフトウェア*

利用する帳票枠と同時に1枚ごとに異なるドットパターンをカラーレーザープリンタで印刷します。

クライアントアプリ接続プログラム*

ペンアクセスポイントの機能を拡張し、ペンの制御を含めたクライアント側でのアプリケーション開発を可能にします。

＊オプションです。（デジタルペン対応用紙をお客さま自身で印刷される場合は、アノト社の認定を受けたプリンタとデジタルペン対応用紙印刷ソフトウェアが必要です。）
EPLS（Enterprise Paper Look-up Service）、ASH（Application Service Handler）は、アノト社の提唱するコンセプトです。日立はこれに基づきソフトウェアを開発しています。